学校番号	328

令和８年度　芸術科

教科	美術	科目	美術の世界	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な静物デッサンから、想像力を働かせた制作、工芸の要素のある木彫の作品制作など、幅広い題材を学べる授業内容となっています。それぞれの技法を習得し、美術に関心を持ってほしいと考えています。１年間、頑張って制作をしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　ポスターカラーの使い方の習得。薄塗と厚塗りの使い分け、太い筆と細い筆の使い分けなど。彫刻刀を安全に使う。三角刀や丸刀など、それぞれの特徴を理解して使用する。
【思考力、判断力、表現力等】
　アイデアスケッチなどを行って、どのような作品にするか計画的に制作する習慣を身につける。時間配分を考えて制作ペースに気を配る。どのような内容の考えを表現するのかよく考えて制作する。
【学びに向かう力、人間性等】
　休むことなく授業に出席すること。積極的に授業に参加し、周りの生徒と良い影響を受けあい、自分の制作に役立てる。周りの状況をよく観察し、迷惑にならないように気を配る。試行錯誤してよい作品を制作する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	画材の正確な知識を身につける。 道具の安全な使い方を覚える。 画材、道具の使い方をよく理解し、レベルの高い作品を制作する。	アイデアスケッチを行うなどして、自分の考えをまとめて、制作に生かす。 作品を制作する上で、どのように画材を使えば効果的か考えて制作する。 自分の個性を活かした制作を心がける。	積極的に授業に参加し、完成度の高い作品を制作する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	静物デッサン	モチーフを使った鉛筆画。 モチーフを使った着彩。 形の正確な描写 陰影を使った立体感の表現	a:形が正確に描けているか。絵の具を効果的に使えているか。 b:モチーフをよく観察して描いているか。 c:積極的に授業に参加し、完成度の高い作品を制作しているか。	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート
	夢の世界を描こう	下絵の制作 本制作	a:絵具を上手く使えているか。 b:想像力を活かした個性的な作品になっているか。 c:よく描きこんで、説得力のある作品になっているか。	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート
2学期	木彫り宝石箱	彫刻刀の使い方の説明 下絵の制作 彫刻作業 着彩作業 磨き作業	a:彫刻刀を安全、効果的に使えているか。着彩作業を上手くできているか。 b:下絵のデザインにあった彫り方ができているか。 c:積極的に授業に参加して完成度の高い作品を作っているか。	提出物	提出物	提出物 授業観察 振り返りシート
	ことわざを描こう	下絵の制作 本制作	a:ポスターカラーを正しく使えているか。 b:ことわざから発想して個性的な画面を作っているか c:積極的に授業に参加して完成度の高い作品を作っているか。	提出物	提出物	提出物

3学期	絵馬の制作	絵馬の説明 下絵の制作 本制作	a:絵具と筆の使い方が上手く出来ているか b:絵馬にあった魅力的なデザインになっているか c:積極的に授業に参加して完成度の高い作品になっているか	提出物	提出物	提出物 振り返りシート
	図形の性質		a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度